

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 31 年 3月22日

計画の名称	17 J R 廿日市駅周辺地区における交通結節点の機能強化										
実施の期間	平成25年度 ～ 平成27年度 (3年間)					交付対象		広島県廿日市市			
計画の目標	・鉄道により分断されていた J R 廿日市駅の南北を結ぶ「自由通路」の整備推進により、利用者の利便性の向上を図る。 ・合わせて駅前広場等の周辺整備推進により、交通結節点の機能強化、商業の活性化、交通の円滑化を図る。										
計画の成果目標 (定量的指標)											
・シビックコア周辺地区の駅の一 日平均乗降客数を 2 6 , 7 1 0 人／日 (H23年度) から 2 8 , 4 0 0 人／日 (H29年度末) に増加 ・J R 山陽本線・広電宮島線の利便性の満足度を 2 . 9 2 (H23年度) から 3 . 0 0 (H29年度末) に増加											
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
シビックコア周辺地区の駅 (J R 2 駅、広電 4 駅) の一 日平均乗降客数を調査する ※資料: J R 西日本旅客鉄道(株)、広島電鉄(株)作成データ参照) J R 山陽本線・広島電鉄宮島線の利便性についてアンケートにより「満足度」を調査する。 ※アンケート調査は、H23実施の市民アンケート調査と同等とする (第 5 次廿日市市総合計画策定時)	当初現況値		中間目標値		最終目標値		J R 2 駅: 廿日市駅、宮内串戸駅 広電 4 駅: 広電廿日市駅、廿日市市役所前駅、宮内駅 J A 広島病院前駅				
	(H23年度)		—		(H29年度末)						
	26, 710 人／日		—		28, 400 人／日						
	2. 92		—		3. 00		※満足度は下記の式により算出する 満足度 = $\frac{\text{満足} \times 5 + \dots + \text{普通} \times 3 + \dots + \text{不満} \times 1}{\text{有効回答数} - (\text{わからない} + \text{無回答})}$				
全体事業費	合計 (A + B + C)	2, 393 百万円	A	2, 094 百万円	B	41 百万円	C	258 百万円	効果促進事業費の割合 C／ (A + B + C)	10. 8%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
廿日市市事業評価監視委員会において実施	事業終了後
	公表の方法
	市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
17-A1	街路	一般	廿日市市	直接	廿日市市	S 街路	改築	(都) 廿日市駅通線 (駅前広場)	駅前広場 A=3000㎡	廿日市市						400	
17-A2	街路	一般	廿日市市	直接	廿日市市	区画	改築	廿日市駅北地区 ((都) 畑口寺田線外)	区画整理 A=16.2ha	廿日市市						539	
17-A3	街路	一般	廿日市市	直接	廿日市市	S 街路	改築	(都) 廿日市駅構内線	自由通路 L=0.080km	廿日市市						1,155	
合計																2,094	

B 関連社会資本整備事業

[illegible]

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
17-B1	J R 廿日市駅周辺における交通結節点の機能強化のため、廿日市駅北地区((都)畑口寺田線外) (17-A2) の整備と併せて、歩行者に憩いの場・休憩の場を提供するとともに、災害時の緊急避難場所として安心・安全な地域づくりを行った。	
17-B2	J R 廿日市駅周辺における交通結節点の機能強化のため、廿日市駅北地区((都)畑口寺田線外) (17-A2) の整備と併せて、緑地内にトイレを整備し、道路利用者の利便性の向上を図るとともに、災害時の緊急避難場所として安心・安全な地域づくりを行った。	
17-B3	J R 廿日市駅周辺における交通結節点の機能強化のため、廿日市駅北地区((都)畑口寺田線外) (17-A2) の整備と併せて、緑地を整備し、道路利用者の利便性の向上を図るとともに、災害時の緊急避難場所として安心・安全な地域づくりを行った。	
17-B4	J R 廿日市駅周辺における交通結節点の機能強化のため、(都)廿日市駅通線駅前広場(17-A1)及び(都)廿日市駅構内線 (17-A3) の整備に併せて、エレベーター等施設を整備しバリアフリー化を図った。	

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
17-C1	施設整備	一般	廿日市市	直接	廿日市市	自転車	廿日市駅前自転車駐車場整備事業	自転車駐車場整備	廿日市市						192	
17-C2	施設整備	一般	廿日市市	直接	廿日市市		J R 廿日市駅北口トイレ整備事業	公衆トイレ施設整備	廿日市市						27	
17-C3	公共交通	一般	廿日市市	直接	廿日市市		廿日市市地域公共交通推進事業	生活交通再編用バス購入（2台）	廿日市市						39	
17-C4	施設整備	一般	廿日市市	直接	廿日市市		J R 廿日市駅周辺都市サイン整備事業	案内サイン整備 3基	廿日市市						0	単独事業にて実施
合計															258	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
17-C1	J R 廿日市駅周辺における交通結節点の機能強化のため、（都）廿日市駅通線駅前広場（17-A1）の整備に併せて自転車駐車場整備を行い、廿日市駅周辺道路への不法駐輪をなくし交通円滑化・良好な景観形成と交通結節点における利便性の向上を図った。															
17-C2	J R 廿日市駅周辺における交通結節点の機能強化のため、廿日市駅北地区（（都）畑口寺田線外）（17-A2）の駅前広場整備及び（都）廿日市駅構内線（17-A3）の整備に併せて、公衆用トイレ（障がい者対応）を整備しバリアフリー化を図った。															
17-C3	J R 廿日市駅周辺における交通結節点の機能強化のため、（都）廿日市駅通線駅前広場（17-A1）及び廿日市駅北地区（（都）畑口寺田線外）（17-A2）の整備に併せて、駅前ロータリーへの乗り入れにより交通の利便性を確保し、地域のアクセス性向上と地域活性化を図った。															
17-C4	J R 廿日市駅周辺における交通結節点の機能強化のため、（都）廿日市駅通線駅前広場（17-A1）及び（都）廿日市駅構内線（17-A3）の整備に併せて、わかりやすく誘導できる案内看板を設置し、利用者の利便性の向上を図った。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ J R 廿日市駅周辺地区の整備により、シビックコア周辺地区の6駅の一日平均乗降客数は当初計画の 26,710人／日 から 28,718人／日 に増加することができた。 ・ 自由通路及び駅前広場等の整備により、利用者の利便性及び交通結節点の機能強化の向上が図れた。			
II 定量的指標の達成状況	指標① (一日平均乗降客数)	最終目標値	28,400人／日	目標値と実績値 に差が出た要因	自由通路及び駅前広場の整備により駅の利用が南北から可能となったことから、J R 廿日市駅の一日平均乗降客数は 6,648人／日→7,932人／日 に増加し、関連事業の整備効果等によりシビックコア周辺地区の一日平均乗降客数は当初計画の 26,710人／日→28,718人／日 に増加した。
		最終実績値	28,718人／日		
	指標② (利便性満足度)	最終目標値	3.00	目標値と実績値 に差が出た要因	自由通路及び駅前広場（アクセス道路）等を整備し、さらにノンステップバスを導入し、利用者の利便性・安全性の向上を図るため着実に事業の実施した。しかし、最終のアンケートの指標が中山間地域等を含む市域全体での数値であったため、満足度数が下がり実績値に差が出た要因と思われる。 このため、廿日市地区（駅周辺地区）の利便性満足度についてアンケートを分析した結果、当初現況値は 3.01→3.16（実績値） に増加していた
		最終実績値	2.88		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		☐安全で快適な歩行空間の確保 連続的なバリアフリー歩行空間の形成により、高齢者や障がい者及び自転車の利便性・安全性が向上した。 ☐駅への公共交通アクセスの向上 アクセス道路等の整備により、J R 廿日市駅への公共交通アクセス（路線バスへの乗り継ぎ時間の短縮等）が向上した。 ☐商業の活性化 J R 廿日市駅周辺の都市基盤整備により、商業施設（スーパー等）が建築されるなど商業が活性化した。 ☐緑のオープンスペース及び安全・安心な居住環境の確保 周辺住民及び歩行者等の憩いの場・休憩の場となる公園緑地が整備され、災害時には一時避難場所となるオープンスペースが確保された。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
J R 廿日市駅地区と佐方地区を結ぶ都市計画道路畑口寺田線（アクセス道路）の整備を進め、交通結節点の機能を強化し、さらなる利便性の向上を図る。					

(参考図面) 社会資本総合整備計画

